

千代田区立富士見小学校		児童数と学級編成 (令和6年5月1日現在)									
	校長 小牧 来太	1	2	3	4	5	6	なかよし	計		
	副校長 齋藤 寿子	3	3	2	3	3	3	1	18		
	PTA会長 齋藤 元紀										
所在地	千代田区富士見1-10-3	児童数	男	38	49	33	54	41	38	5	258
電話	(3263) 1006 (代)		女	34	44	34	42	41	46	3	244
ファクシ	(3288) 3416	計	72	93	67	96	82	84	8	502	
最寄りの駅	JR線 飯田橋 地下鉄 九段下・飯田橋	開校記念日 9月6日									

1 教育の概要

学校・地域の特色

本校の周辺には外国大使館が点在し、国際色が色濃い地域である。また、私立・公立の幼・小・中・高等学校や大学も多数ある文教地区であるとともに、飯田橋駅周辺から続く商業地域も抱えている。学区域では6つの町会主催の昔ながらの伝統行事や習わしが大切にされている。

平成22年4月からは天然芝生の校庭、広大な体育館などを保有する、こども園・児童健全施設が一体となった複合施設の中の校舎になり、これらの特色を生かした教育活動の創造に取り組んでいる。

2 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、多様性を認めるとともに、人々と協働しながら自己の向上に努め、富士のように美しくおおらかでたくましい人間を育てる。

○仲良く 助け合う子 (思いやりの心を持ち、協力し合う)

◎よく考え つくりだす子 (よく考え すすんで行動する)

○明るく 元気な子 (すすんであいさつし 元気よく活動する)

千代田区子育て・教育ビジョンに示されているように、児童同士や教職員、地域の方々など「多様な人々と共に生きる」ことで、児童が「主体的に判断する」ことや「自ら未来を切り拓く」ことができるよう向上し、豊かな心をもった人間になることを目指す。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・人権尊重の精神を基盤にした虐待防止や生命(いのち)の安全教育やの推進、豊かな心の育成、学校いじめ基本方針に基づいた対応・不登校児童対応を、学校組織として関係諸機関と連携し、対応する。
- ・「学校2020レガシー」のひとつである共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育推進のため、こども園との交流や特別支援学級との交流及び共同学習、特別支援学校に在籍する児童との副籍交流を通して、人間の多様性を理解・尊重する子どもを育成する。
- ・自分の思いや考えをもち進んで学び行動する子どもを育成するため、教師が子どもが自ら学び、自ら考えるような授業の転換を図る。
- ・校内研究を通して育成している汎用的な力(比較・関係づける力)を基にしたカリキュラム・マネジメントの確立や子ども自ら学び、自ら考える授業づくりを教師が設計することを通して、児童の確かな学力定着と向上に努める。
- ・学校運営協議会と学校が一体となって児童の育成を図るために、地域学校協働活動コーディネーターが核となり、周辺環境や外部人材を活かしたSDGsやESDの取組など、地域社会と連携・協働した「社会に開かれた教育課程」の編成に努める。
- ・特別な支援が必要な児童について、特別支援コーディネーターを中心にスクールカウンセラー、会計年度任用講師・職員、支援員など、様々な立場からの視点を踏まえ、校内委員会やケース会議等で共通理解を図り、児童や保護者の教育的なニーズを把握して教育支援シートを作成するとともに、個に応じた指導を行う。
- ・体力調査等の結果を踏まえて、脳・神経・筋肉等の調和的発達を促進し体力向上を図る「コオーディネーショントレーニング」を体育学習等に取り入れ、運動への意欲向上の取組に努める。
- ・我が国の伝統文化について理解を深めることや外国語活動に関する学習や交流・体験活動等を活用し国際教育の推進をし、自国を誇りに思う心や積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・幼稚園・こども園・保育所の教職員との連携・継続した交流活動を踏まえ、1学年のスタートカリキュラムや就学前プログラムを基に、架け橋期の教育の充実を図るため、一貫性・連続性のある教育を推進する。
- ・学校運営協議会における意見や学校評価の結果を学校運営に反映させ、家庭や地域、有識者の見識や教育力を生かして、学校教育の充実、改善を図る。

3 指導の重点

(1) 自分を見つめ、他者との違いを認め合う

- ・ 道德教育の全体計画及び年間指導計画を基に、考える道德に向けての授業改善を道德教育推進教師や新設した「豊かな心 育成部会」を中心に行い、全教育活動の中で豊かな心の育成を全教員で目指す。
- ・ 全学年の重点項目を、主として人との関わりに関することとし、思いやりの心、感謝、他者を尊重する心を育て、社会性・規範意識を養うため、Q Uや人権教育、心の教育コーディネーターによる研修を1つのパッケージとし、指導方法の工夫・改善を図り、全教員がよりよい道德授業を目指す。
- ・ 道德教育推進教師による模範授業や校内研究と関連させた道德授業、道德授業地区公開講座を通して、地域や保護者との連携を深め、共に道德教育の充実に努める。
- ・ 他国の大使館との交流を生かし、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動を行うことで多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。
- ・ 思いやりのある心をもち協力し合う児童の育成を目指し、学年間や異学年間の交流や就学前プログラムを基にしたふじみこども園との一貫性のある教育を充実させ、教職員が連携協力できる機会を設定する。
- ・ 特別な配慮を要する児童については、特別支援教育コーディネーターを中心に学校経営支援アドバイザー、巡回アドバイザーやスクールカウンセラーを生かし、全教職員の共通理解のもと指導にあたる。また、学級担任が巡回指導教員や講師（特別支援教育）と連携しながら、学校全体で指導の充実に努める。
- ・ よりよい生活を送るための人間関係づくりを推進するために、話し合い活動をはじめ、異学年交流を通しての自律的なルールづくり、仲間づくりなど、自主的・実践的な活動の充実に努める。

(2) 自分の思いや考えをもち、進んで学び行動する

- ・ ちよだスマートスクールの推進や一人一台タブレット教育全体計画、プログラミング教育全体計画を基に、確かな学力の定着のため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた児童が自己選択・自己決定できる授業デザインへの転換を図る。
- ・ 地域学校協働活動を各教科、特別活動において、外部講師の招聘や体験活動を地域の協力のもと実施し、社会に開かれた教育課程の実践を目指す。
- ・ 校内研究で育成した「汎用的な力」をSTEAM教育等の教科横断的な教育活動を通して、課題発見・解決や価値創造に結び付けられるようなカリキュラム・マネジメントの確立を図る。
- ・ 主体的に学習に取り組み、自らの考えを深めるために、各教科等で他者との意図的な交流学习の時間や振り返りの時間を設定する言語活動の充実に努める。
- ・ 近隣の神社や関係する人材との交流する「ふれあいウィーク」を設定し、雅楽などの日本の伝統文化を理解し、自国愛・郷土愛を育むとともに食文化や他文化を理解・尊重する態度を育成する。
- ・ 各学年で特別支援学級との交流及び共同学習を学習指導や学校行事で日常的に実施することで、自身を見つめ、多様性を理解し尊重する態度を養う。
- ・ 年間5回の土曜授業を実施し、地域学校協働活動コーディネーターが核となったゲストティーチャー授業や栽培活動等、地域リソースを活用した学習や体験活動の機会を通して、更に豊かな教育環境をつくり、確かな学力の向上及び豊かな体験活動の充実に努める。

(3) 健康で安全な生活を心がけ、心と体をたくましくする

- ・ 外部講師と教員が連携しコーディネーショントレーニングを前期教育活動で重点的に行うことで、神経系の調和的発達や姿勢や身のこなしの改善など、心と体の健康づくりや体力向上を図る。
- ・ がん教育推進のために、地域の人材から外部講師の年1回招聘し、各教科等の指導を通じてその発症要因を理解できるよう、全体計画のもと、年間を通して意図的・計画的に設定する。
- ・ 地域の方々と連携・協働し、すすんで自己の追究したい課題を解決する力や情報化社会を生き抜く力、主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育成するために、「つなげる」を各学年のキーワードとし、各教科と連携した探究的な活動の充実に努める。
- ・ 食に関する指導の充実に努めるために、全校で計画的に食に関心をもてる機会を設定する。また、さらなる興味・関心を高めるために、関連企業と連携して栄養教諭を中心とした指導や体験学習を実施する。
- ・ 学校全体での計画的な図書室利用や外部人材を活用した読み聞かせを年3回実施、「Yomokka!」を活用した読書、図書館司書職員との連携によって児童の読書への関心を高め、発達段階ごとの読書活動の推進を図る。

4 年間行事計画

4月	始業式、入学式、定期健康診断始、安全指導 避難訓練、保護者会、1年生を迎える会 全国学力・学習状況調査（意識調査） 1・2年はたらく消防写生会 コーディネーショントレーニング 離任式、学校運営協議会	10月	孀恋自然体験交流教室（5年） 安全指導、避難訓練 前期終業式、後期始業式 校外学習（2・4・6年、なかよし） セーフティ教室（1～5年） 薬物乱用防止教室（6年）、就学時健康診断
5月	土曜授業・学校公開、PTA総会 避難訓練（引き取り訓練） 区達成度調査（4・5・6年）、安全指導 体力テスト（全学年）、箱根移動教室（6年） プール開き、水泳指導始	11月	校外学習（1・3・6年）、区一斉清掃（3年） 安全指導、避難訓練、 連合音楽会（4年） 土曜授業、学習発表会
6月	区一斉清掃（4年）、租税教室（6年） 花さかじいさん（5年）、安全指導、避難訓練 土曜授業・学校公開（ゲストティーチャー授業） 校外学習（1・2・3・4年） おはなしカメさん、教育委員訪問	12月	個別面談、持久走記録会、ふれあいウィーク ちよだスマートスクールの日・授業参観 安全指導、避難訓練、 校外学習（5年）、花さかじいさん（6年） 大掃除、冬季休業日始
7月	おはなしカメさん、保護者会、歯磨き指導（全学年） 音楽鑑賞教室（6年）、安全指導、避難訓練 大掃除、夏季休業日始、PTA夏祭り 保田臨海学校（4年）	1月	冬季休業日終、席書会、書き初め展 安全指導、避難訓練 連合作品展見学 保幼小合同研修会（本校会場）
8月	夏季休業日終	2月	安全指導、避難訓練、長縄週間、6年生を送る会 授業参観・保護者会（4～6年） 新1年生保護者会、校外学習（4年）
9月	開校記念日（9月6日）、安全指導、避難訓練 区水泳記録会（5年）、プール納め、水泳指導終 陸上記録会（6年） 体育学習発表会	3月	感謝の会、安全指導、避難訓練 授業参観・保護者会（1～3年・なかよし） 給食終、修了式、卒業証書授与式 春季休業日始

5 学校施設・規模一覧

現校舎	起工	平成20年9月19日	教室	普通	18教室
	竣工	平成22年1月31日		特別	理科室、家庭科室、図工室、音楽室、放送室 図書室、ラーニングルーム、算数ルーム 多目的室A（ほっと教室） 多目的室B（旧PCルーム） 多目的室C（旧ランチルーム） ステップ教室
校舎構造	鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋 コンクリート 地上6階				
敷地面積	7,371.06 m ²				
延床面積	13,532.63 m ²				
運動場	校庭	1,914 m ²	管理室	校長室、職員室、保健室、事務室、調理室	
	屋内	2,018 m ²	その他の室	器具庫、教材庫	
	合計	3,932 m ²	プール	10m×25m 4コース 水深 0～120cm (屋内可動床)	

7 沿革

明 10. 4. 15	創立、学齡女兒を教育する
明 19.	高等科及び尋常科を設置
明 20.	本校附属幼稚園を設ける
明 23.	小学校令改正により尋常高等小学校となる
明 41.	高等科分離、尋常小学校
昭 42. 11	創立 90 周年記念式典挙行
昭 52. 11	創立 100 周年記念式典挙行
昭 62. 11. 7	創立 110 周年記念式典挙行
平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田富士見小学校となる
平 6. 1. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立富士見小学校となる
平 8. 9. 6	校歌・校章の制定
平 9. 12. 6	開校5周年を祝う会
平 16. 2	開校 10 周年記念集会
平 18. 9	仮校舎(旧九段中学校)において授業開始
平 18. 10	旧校舎(富士見小学校)見納め会
平 21. 4	平成21年度東京都スポーツ教育推進校
平 22. 4	新校舎移転(富士見みらい館内)
平 30. 9. 6	開校25周年
令 4. 4. 1	特別支援学級(なかよし学級)開級
令 5. 9. 6	開校30周年
令 5. 12. 9	開校30周年式典
令 6. 6~8	富士見みらい館体育館 LED 化工事